

チェックポイント①
亀島小学校記念公園

学童の減少にともない廃校となった亀島小学校跡地の公園。隣接する特別養護老人ホームカメラアは亀戸地区の避難所として指定。



フォトラリーの様は、撮影写真の発表会。



レジデンスクラブ賞 三鷹地所ハウスネット賞 ザ・パークハウス 亀戸賞 SUNAMO 賞

亀戸エリア街歩き MAP

亀戸は古くから住宅地として住み継がれてきた地域。下町らしさと新しさはよく共存する街です。東西南北を川に囲まれ、街のどこからでも東京スカイツリーがその姿を現す風景が亀戸ならではの風景でしょう。また、神社が多いのも亀戸の特徴。なかでも亀戸天神社は菅原道真公を祀り、学問の神として親しまれています。この時期は受験生と梅まつりに訪れる人たちが、とくににぎわいます。



チェックポイント②
亀戸五丁目公園



亀戸では、いたるところで桜の花に出会う。



黄色い屋根の複合遊具が目印。子どもたちだけでなく周辺に暮らす人々の憩いの場となっている。隣接する水神小学校も亀戸地区の避難所。

今回のレジデンスパーティーは自由散策のフォトラリー。

「ザ・パークハウス 亀戸」レジデンスギャラリーからスタートし、東武亀戸線と北十間川・橋十間川に囲まれたエリアを3つのチェックポイントを目指しながら自由に散策を撮影しました。



チェックポイント③
香取公園

ターザンロープなどの遊具が充実し、子どもたちに人気の公園。隣接する香取小学校は亀戸地区の避難所のひとつ。



左ノ北十間川から望む東京スカイツリー。新たな亀戸の象徴的な風景。左ノ寛明時代に創建されたという亀戸水神宮（寛文により復興し、その後再建）



亀戸中央通り商店街の酒店でのみ販売している日本酒のボトル。



左ノ「暮らし」のり豆。まずは「食べてみて」と一試いただく。右ノ今では少ない亀戸大根は、かつて亀戸各神社の周辺で栽培されていた。



マンション居住者と地域をつなぐ新たなエリアコミュニティ創造プログラム「街とつながるレジデンスパーティー」。今回は、亀戸エリアでフォトラリーを開催しました。

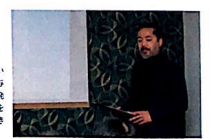
今回の「街とつながるレジデンスパーティー」は、江東区亀戸が舞台。江戸情緒の残る街で「変わらないもの、変わりゆくもの」をテーマにした魅力を探るフォトラリーを開催しました。ある防災拠点や避難所のある防災拠点は、少し意識してみよう。どの街でも見つけられる。今回は亀戸の街を舞台に防災拠点を3つのチェックポイントとして、会場の皆さんが暮らす街の防災策について考えていただくきっかけとなる場となりました。

まずは「ザ・パークハウス 亀戸」レジデンスギャラリーにて、地域活性化プロジェクト「I LOVE 亀戸」主宰の諸氏から街巡りを案内するフォトラリーをスタートしました。今回テーマに合わせて亀戸の街を撮影した後はレジデンスギャラリーに戻り、写真とともに参加者それぞれが感じた亀戸の魅力を発表。住んでも全然知らないこと、ものがあり、ためになった「パシフレットでは感じられない体験が」と満足の声が聞かれました。

今回の講師

I LOVE 亀戸 主宰・編集者 諸氏 さん

普段は目に留まらない街の風景にテーマを与えることで、新しい発見があることを写真を通じて伝えていただきました。



街とつながるレジデンスパーティー 「くらしを彩る武蔵野・三鷹満喫フェア in 三鷹産業プラザ&三鷹中央通り周辺」を開催!

昨年の12月17日、街とつながるレジデンスパーティーが、武蔵野市・三鷹市エリアにお住まいの方に向けて開催されました。三鷹地所コミュニティ管理のマンションや、三鷹地所ホーム供給の戸建にお住まいの皆さんと一緒に「街の魅力」を再発見する初の試みです。当日は地元商店街でのセールラリーやクリスマスグッズづくりなどのワークショップ、地元サッカーチーム（東京武蔵野FC）のキックアトラクションに次盛り上がり、マルシェや産直野菜の即売会も人気を集めました。また、三鷹市による防災パネル展示や武蔵野市による防災講座も行われ、楽しく遊びながら防災意識も高められると大好評。参加者からは「子どもも喜ぶし、また開催してほしい」との声がありました。



左ノ地域商店会によるマルシェには盛り上がりを見せています。中ノワークショップではクリスマスグッズづくりなどに大人も子どもも夢中。右ノ東京武蔵野FCのキックアトラクションでサッカー選手気分。